

晩期合併症



WANPUG

子ども達に「**勇気**、**夢**として**笑顔**」を

晩期合併症とは？

小児がんの**治療を終了した後**、身体的な成長や発達の過程で、さまざまな問題に直面することがあります。

生命に関わるもの

(心機能障害や
二次がんなど)

日常生活のQOL (生活の質)に強く 影響を及ぼすもの

(不妊症や学習の遅れ、
てんかんなど)

生活習慣病に つながるもの (肥満など)

治療終了後すぐ現れる場合もありますし、治療後10年以上たってから問題になることも少なくありません。



合併症を見逃さないためにも、治療終了後、右記のような症状が気になったら、医師または患者支援センター内「小児がん相談」にご連絡ください。

内分泌

低身長
二次性徴が早い・遅い
疲れやすい
食欲低下
多飲・多尿
肥満
無月経（※女子のみ）

腎 臓

むくみ
高血圧
貧血

肝 臓

慢性疲労

聴 力

耳鳴り
聞こえにくい

眼

眼が乾燥する
かすむ
ものが二重に見える

心 臓

息切れ
動悸
下肢のむくみ

脳

記憶力の低下
集中力がない
学習が困難

二次がん

脳腫瘍
甲状腺がん
乳がん など



地方独立行政法人 大阪府立病院機構

大阪母子医療センター

<患者支援センター>

〒594-1101 大阪府和泉市室堂町 840

TEL 0725-56-1220

FAX 0725-56-5605

2022.8 更新